

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情2第13号	受理年月日	令和2年6月9日
陳 情 者	[Redacted]		
件 名	G I G Aスクール構想実現へのロードマップに関する陳情		
<p><b>【陳情の趣旨】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンライン学習やオンライン授業の必要性がますます高まっており、文部科学省からもG I G Aスクール構想を前倒しで実現するよう、各自治体に通知があったことと認識しております。目黒区においても令和2年度補正予算にて「区立小・中学校における児童・生徒1人1台の情報端末整備～G I G Aスクール構想の実現に向けて～」という項目にて、御審議いただけるものと思います。</p> <p>目黒区立小学校に子どもが通っている保護者としては、具体的にいつまでに、どのような教育が行われるのか、目黒区におけるロードマップ（実現目安時期・課題・担当部署）を知りたいと考えています。23区内でも教育ICT環境整備に格差が生じており、なぜ目黒区は遅れているのか、それはどうしてなのか、誰に問い合わせが良いか分からず、保護者は困惑しています。新型コロナウイルス感染拡大の第2波、第3波が想定され、不安な状態が続くため、早急にG I G Aスクール構想の実現をお願いすることとともに、実現までのロードマップが保護者に伝わるよう、ホームページ等で進捗状況と今後のスケジュールを公開してください。進捗状況を公開していただくことで、保護者もある程度安心できますし、教育委員会の問い合わせ対応の負荷も下がるのではないかと感じます。新型コロナウイルス感染情報のように、細かい進捗状況をオープンにさせていただきたいです。公開できない場合には、その理由を教えてください。</p> <p>実現までのロードマップを示すのは、いわば「あとどれくらいで青になるか分かる信号」です。どんなに間隔の長い赤信号でも、今どの段階まできているのか進捗を示すことで、待つ人のストレスは格段に解消されました。進捗のわからない赤信号は、待つ人のストレスとなり、赤信号での横断→事故に発展することが多いと聞きます。何がボトルネックになっていて、どこまで進んでいるのかわからないことが、「他区では実現されているのに目黒区は遅れている」という現実に対するストレスよりも、はるかに大きなストレスの要因になっていると感じています。</p> <p>社会環境がどのような状況であっても、未来ある子どもたちの学びが継続できるよう、G I G Aスクール構想の早期実現とロードマップの公開をお願いいたします。</p>			

**【陳情事項】**

- 1 G I G Aスクール構想早期実現に向けた、目黒区のロードマップを公開してください。
  - ・実現の目安時期（現状の読みもしくは目標なり何らか具体的な時期）
  - ・それまでに乗り越えるべき課題（個人情報、端末手配、ネットワーク環境整備など）
- 2 ロードマップを踏まえ、実際の進捗状況をホームページ等で随時公開してください。
- 3 各担当部署および責任者を教えてください。  
（ロードマップ作成担当、個人情報担当、端末手配担当、ネットワーク環境整備担当）
- 4 上記1～3のうち公開ができない場合は、その理由を教えてください。